



こだま

久万高原町立直瀬小学校

TEL 0892-31-0040

FAX 0892-31-0162

久万高原町直瀬 3974-3

「1年を振り返りながら、ふるさとを想う」 校長

「私のふるさととは、今治です。」胸を張って言えるようになったのはいつの頃でしょうか。子どもの頃は今治が好きではありませんでした。好きとか嫌いとかいうより無関心に近かったように思えます。大学進学に際して、今治から出たいと思って進学先を考えたことはいうまでもありません。ですが、実際のところ、教員になってからも南予、上島と転勤を重ねた後、今治に戻ってからは20年以上ずっと今治で暮らしています。両親が居たことはもちろんですが、教員になろうと思った理由の一つは、将来、今治で暮らすことを考えたからです。高校2年生の時、担任の先生から、「みんなには、将来、ふるさと今治のために尽力する義務がある。これまで地域に育てていただいた恩を返す、次の世代に引き渡す役割を担っている。」ということを言われました。この言葉は、将来今治で暮らすことを考える一つの礎となりました。

こうして人生の多くを今治で過ごしてきたわけですが、その間にふるさと今治は大きく様変わりをしてきました。衰退していく様も多く見てきましたが、その流れに抗う様も見てきました。今治タオル、しまなみ海道、サイクリング、FC今治など全国に名が知れ渡るものも多く輩出されています。メディアに取り上げられる目立つことだけでなく、目立たないけれど地道にがんばっているところもあります。こうしたふるさとの頑張りを担う次の世代のこどもたちを育てるという立場にある者として少しでもふるさとの力になれていれば幸いです。そして、子どもたちにはふるさとを愛する気持ちを持ってもらいたい。直瀬の子どもたちにも6年間で培った直瀬を愛する気持ちを大事に持ち続けてほしい。どういう形であれ、将来、ふるさと直瀬のために尽力してほしい。「私のふるさととは久万高原町直瀬です。」と胸を張ってほしいと思います。

そのために、我々ができることは何か、残せるものは何か。直瀬の子どもたちにはすでに直瀬を愛する気持ちが育っています。家族や地域の方に愛され、見守られて成長していることを実感しているからです。では、その先、どうするのか。我々に何ができるのか。親の後姿を見ながら子どもは成長すると言われますが、我々大人はその背中で何を見せるのか。今までに何をを見せて、これから何を見せなければならないのか。教職員として、大人として、親として、学年末を迎えるこの3月に改めてこの1年を振り返りたいと思います。



卒業おめでとう!





参観日・読書会



2月6日（木）は、今年度最後の参観日でした。また、参観授業に加え、ボランティアの方々による「読書会」を開催しました。



パパパネルでパイナップルに変しんでいたのが、面白かったです。パンダに変しんでいたのも、面白かったです。

へびくんが水を飲んでしまったのは、びっくりしました。へびくんの上をゾウさんが通り、へびくんがしゃがれたので、わらっちゃいました。

3年 O・S

読書会で一番楽しかったのは、パパパネルです。最初の文字に「パ」がつくものや、動物を顔に当てて歌を歌うのが面白かったです。「どこえゆくちょうべい」は、大根といっしょにじごくに落ちて、次にかみなり様のところに上がって行って、最後は木にぶら下がっていたのが面白かったです。

4年 O・K

私が読書会で楽しかったのは、パパパネルです。〇〇先生のおまじないの言い方や笑ったりおこったりする表情、キャラクターによってしゃべり方を変えていたのが上手でした。三年とうげでは、あんなにも長い素話を覚えていたのがすごかったです。

6年 I・R

私が読書会で心に残ったのは、「三年とうげ」です。それは、3年生の時の授業で学んで、なつかしいと思ったからです。「転ぶでないぞ。」の部分で、転んだらじゅ命が減るのが怖かったです。最後の「パパパネル」で、〇〇先生が大きな声で「パーパネル」と歌っていたけど、私ははずかしくてあまり声が出せませんでした。でも、みんなが大きな声で歌っていたので、私も大きな声で歌えました。

6年 I・M



3月の主な行事

- 3月12日（水） 6年生を送る会
- 3月24日（月） 卒業式
- 3月25日（火） 修了式
- 3月27日（木） 離任式

